

義務教育学校・明野地区準備委員会 第4回 PTA 部会議事要旨

- 開催日時 令和2年10月22日（火）午後6時30分～7時45分
- 開催場所 明野いきがいセンター 研修室
- 出席者 筑西市義務教育学校・明野地区準備委員会 PTA 部会委員 16 名
教育委員会 小野塚部長、古幡次長、松岡次長兼学務課長、入山参事兼
指導課長、その他事務局職員（指導課・学務課）

■会議経過（概要）

1. あいさつ【武井部会長】

2. 新規委員の紹介

3. 議事

（1）PTA ワーキングチーム進捗状況について

各学校の PTA 委員より本部役員等で話し合った内容を説明

（2）前回の振り返り【大木係長】

⇒前回は、「明野中を起点とし直線 3km という基準を基に徒歩通学で道のり 4km を超える児童がいないか」ということについて協議を行い、直線 3km で道のり 4km を超える児童はいないという想定ができた。

今回は、直線 3km とした根拠や直線 3km 外のバスの乗車対象となる児童数・運行経費等について資料をお示したい。

（3）スクールバスの在り方について【長尾主事】

⇒運行経費等を算出するに当たり、小学生の始業時間を 8 時 15 分と想定した。

（中学生は 8 時 5 分）バス 1 台で 2 往復が可能かという時間の検証を行った。小学校を集合場所と仮定し、1 便目を小学校周辺児童を対象とし、2 便目の対象は小学校から離れた場所に居住する児童とした。2 便目対象の児童が小学校に集合する時間までにバスが小学校に到着し、始業時間に余裕をもって到着できるかを、実際の通学時間帯にマイクロバスを利用して実証実験を行った。

交通渋滞を回避するために、明野中学校へ北側から左折で侵入するためのロスタイムが生じ、1 便目の児童の集合時間が想定より早い時刻となることから 1 台で 2 往復は不可能という検証結果となった。このため、集合場所を小学校以

外にも1箇所設定する案を提示し、それに係る運行経費等についての説明を行った。

【委員意見】

- ・小学校1年生は、バスに乗せたい。
- ・雨が降ると保護者送迎が増えることが見込まれるため、送迎の決まりを作る必要がある。
- ・乗車対象外で保護者負担を払ってでも、バスに乗りたい人の対応が必要か。
- ・安全面に対する配慮は、どこまで考えているのか。
- ・小学生、中学生の通学路についてはどのように考えているのか。
- ・特別な支援を要する児童の通学について、今は配慮してもらっているが、開校後も同様に配慮していただけるのか。そういったことも含めて、保護者送迎の位置づけについて検討していただきたい。
- ・物騒な世の中で、児童の安全面を危惧しながら歩かせたくないとする保護者も多いのではないか。

⇒前回と今回で協議していただいていること、また本日出していただいた意見について準備委員会にお諮りし、準備委員会だよりなどを通して地域にお知らせしていく予定である。

4. その他

- ・次回の会議予定について【大木係長】

準備委員会を来年1月に予定しており、詳細については改めて通知する。